



2019年2月14日

各位

株式会社フィスコ
代表取締役社長 狩野 仁志
(JASDAQ・コード3807)
問い合わせ先：
取締役管理本部長 松崎 祐之
電話番号 03(5774)2440 (代表)

特別利益の計上及び

2018年12月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2018年12月期におきまして、下記の通り特別利益を計上するとともに、2018年12月7日に公表いたしました2018年12月期の通期業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生及びその内容

2018年12月26日に当社の持分法適用関連会社である株式会社フィスコデジタルアセットグループにおいて、同社が発行する第1回無担保転換社債型新株予約権付社債につき全額権利行使されたことに伴い、持分変動利益約198百万円を特別利益に計上いたしました。

2. 2018年12月期連結業績予想と実績値との差異（2018年1月1日～2018年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	11,614	△494	△2,078	△2,357	△61.62
実績値(B)	11,455	△788	△2,476	△2,152	△56.25
増減額(B-A)	△159	△294	△398	205	
増減率(%)	△1.4	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2017年12月期)	14,620	7	△59	636	16.73

3. 業績予想値との差異の理由

2018年12月期通期連結業績の売上高は、2019年1月18日付「当社及び当社連結子会社における棚卸資産評価損（売上原価）及び特別損失の計上、並びに当社連結子会社の通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」（以下、「2019年1月18日付開示文書」といいます。）にて開示しましたとおり、当社の連結子会社である株式会社ネクスグループ（以下、「ネクスグルー

プ」といいます。)において予想より 45 百万円下回ったこと及び当社の連結子会社である株式会社フィスコ IRにおいて予想より 56 百万円下回ったことなどにより、159 百万円減少しました。

営業損失は、2019 年 1 月 18 日付開示文書のとおり、当社の連結子会社である株式会社チチカカにおいて棚卸資産評価損（売上原価）約 245 百万円を計上したことなどにより、予想より 294 百万円増加いたしました。また、ネクスグループにおいて持分法投資損失 38 百万円を計上したこと及び当社の連結内における内部取引の相殺額において 62 百万円差異が生じたことなどが主因で経常損失は予想より 398 百万円増加いたしました。

親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、持分変動利益約 198 百万円を特別利益に計上したこと、ネクスグループの損失計上に伴う非支配株主に帰属する当期純損失の計上などにより、205 百万円減少しております。

以 上